

# 図書館と県民のつどい埼玉2007



文字・活字文化の日(10月27日)制定を記念し、図書館サービスの向上と読書活動の推進を図るため、県民とともに図書館のあり方を考える「つどい」を開催します。なお、従来実施してきた「子ども読書活動交流会」も、この事業の一環として同時開催します。

**日時** 平成19年10月27日(土)  
午前10時～午後3時30分

**会場** さいたま市民会館うらわ  
(浦和駅西口・徒歩7分)

詳細は、ちらしや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

**問い合わせ** 埼玉県図書館協会事務局(県立浦和図書館内)  
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-1-22  
電話:048-829-2821  
FAX:048-829-2979

## 講演会・分科会のご案内

- 午前** 記念講演 「私の読書と子どもの読書」  
講師 長谷川摂子氏(絵本作家)
- 午後**
- 分科会1 こうすればあなたの手元に資料が届く
  - 分科会2 あなたの力を図書館へ
  - 分科会3 地域で子どもと読書を楽しむ  
子ども読書活動交流会(地域・家庭文庫編)
  - 分科会4 学校でこんなこともできる・している  
子ども読書活動交流会(学校編)
  - 分科会5 読み聞かせ講座 たのしいおはなし会をもつために  
子ども読書活動交流会(実技編)
  - 分科会6 高等学校における図書館活動
- 全日**  
実技指導 製本入門 ~自分だけの本を作ろう!~  
展示会「埼玉県の図書館ネットワークはこうなっている」

## 平成19年度埼玉県立図書館子ども読書支援関連事業

### 「拡げよう読み聞かせ・ストーリーテリングの輪」

「おはなしボランティア指導者養成講座」平成19年9月6日～11月29日(全13回)会場:朝霞市産業文化センター他  
「おはなしボランティア指導者養成講座」は今年で3回目の開催となります。今年もたくさんの方に御応募をいただき、ありがとうございました。お申し込みは7月31日で締め切らせていただきました。今期も熱い講師陣による、基本を大事にした内容の濃い講座を予定しています。



### 「地域子ども読書支援事業」

～絵本の読み聞かせやストーリーテリングの勉強会をしませんか?～

「絵本の読み聞かせ」や「ストーリーテリング」のボランティア活動をしている中で悩んでいることはありませんか? 「どんな絵本を選べばいいの?」「ストーリーテリングに挑戦してみたいけど、どんな風に勉強したらいいのかな?」 などなど...

勉強会を希望するボランティアグループに埼玉県立久喜図書館が養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。たくさんのご応募をお待ちしています。詳しくは子ども読書支援センターのホームページをご覧ください。

### ボランティア養成布絵本講座

平成19年9月14日(金)、9月21日(金)10:30～15:00(全2回) 会場:埼玉県立久喜図書館

「布絵本講座」も今回で10回目の開催となりました。講座受講生で結成した「つくし」製作による布絵本は、現在県内の養護学校や児童福祉施設の子どもたちに貸し出しており、大変喜ばれています。布絵本は色やかたち、紙の絵本では表現できない動作など工夫がされており、その製作はとても根気のいる作業です。現在「つくし」のメンバー13名で年間10点ほど製作しています。

「つくし」は毎月第1・3火曜日10:00～15:00まで県立久喜図書館で活動しています。「布絵本講座」の受講だけでなく、布絵本製作の見学、作品の閲覧は常時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

## 「Shien」を見るなら



情報誌「Shien」は、県内の公共図書館や、小・中・高等学校へも配布しています。また、県立図書館のホームページから、カラー版がご覧になれる、プリントアウトもできます。

編集発行 埼玉県立久喜図書館  
子ども読書支援センター  
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のホームページ 「子ども読書支援サービス」  
<http://www.lib.pref.saitama.jp/>

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5  
☎ 0480(21)2659(代) fax 0480(21)2791

# Shien 第4号

子どもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成19年9月1日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

## 《目次》

- 私の悩み「ボランティアは必要なのか?」.....1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座.....1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介.....2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から.....2
- ブックリスト担当から.....3
- インターネットからの情報収集担当から.....3
- 図書館と県民のつどい埼玉2007.....4
- 平成19年度県立図書館子ども読書支援関連事業.....4

## 私の悩み 「ボランティアは必要なのか?」



「ボランティアは本当に必要なのか?」というのが子ども読書支援センターにおける私の常に抱える悩み。ボランティア募集があったのだから、必要があるはずなのだが、その必要が適当なものかどうかまた気になってしまう。とりあえず、「今日は必要とおもっておこう」と図書館へと向かう。

仲間とブックリストを作りながらも「ボランティアは本当に必要なのか?」という問いが頭を過ぎる。「図書館の人たちで作ったほうがいいものができるんじゃないのかなあ...」と口に出してみる。

ところが、そんなことも話し合っているうちに、「ボランティアならではのものを」という方向が見えてくる。それはどういうことかということ、図書館の職員がふだん本を介して出会うのは、図書館に来る子どもたち。でも、図書館通いをする子どもはほんの一握りであって、実は、職員はほとんどの子どもとは出会わないのだ。「おはなし会」にしても、自らやってきた子どもが対象の図書館の「おはなし会」と、学校の「おはなし会」とでは違うところが多い。そう、ボランティアは職員の『未知の世界』を知っている???

そんなこんなで、今作っているリストは、なんとか「必要」をこじつけてやっています。

子ども読書支援ボランティアS

## おはなし・読み聞かせ実践講座

このコーナーでは、「おはなしボランティア指導者」の皆さんによる、おはなし会を行う上でのワン・ポイント・アドバイスをリレーでお届けします。



子どもたちと本を結びつける手助けをするのが  
私たちの役目...まず「選書」  
いい本を選ぶことが第一です!

「.....子ブタは、いつまでもしあわせにくれました。おしまい!」と言うと、今までの不安そうな顔がホッとした表情になった4才のH君。お話会が終わると、語ったばかりのお話の本、今読み聞かせた絵本を先を争って借りてゆくSちゃん、Hちゃん、Mちゃんたち。「この話知ってるけど、おばちゃんに読んでもらおうと楽しい気がするね」と4年生のKちゃん。「この前おはなし会で聞いた「カエルの王さま」読んだよ」と5年生のJ君。「いつもうちの子がおはなし会を楽しみにしてるんですよ」とエレベーターで出会ったAちゃんのお母さん。

そんな声が聞けるのは、おはなしのおばさんの喜びです。子どもたちと一緒に幸せな時間を持つためには、どんなお話を語るか、どの絵本を読むか、それを「選ぶ

こと」がとても大切です。私たち大人は、子どもにはなれません。ただ子どもの気持ちに近づくことは出来ます。いい本を選ぶには、私たち自身が人の語るお話を聞く(子どもたちと一緒に尚更いい)、絵本を読んでもらう(子どもに読み聞かせする時のように)、また沢山の本を読む(子どもの本に限らず)ことが必要です。

子どもたちが、ボランティアのおばさんと一緒に本を読んだことは忘れても、また、いますぐ本に手を伸ばさなくても、本の中には、心を満たしてくれるものが詰まっていることを知っているだけでいいのです。

読書は優れて個人的な営みです。でも子どもたちにとって、本を読む喜びは、人と人との暖かいふれあいの中から生まれてくるものでもあるのです。

澤村篤子  
(おはなしボランティア指導者養成講座修了生)

# ちちぶっくねっと chichibu BOOK network

Q 「ちちぶっくねっと」ってなあに？

秩父地域の読書ボランティアグループが、横に手をつないで、情報交換や、単グループでは実現できない講習会講演会などの企画、子どもの本に関するお役立ち情報の発信など、いろいろあれこれ「ちちぶ」の「ぶっく」のことを考える「ねっとわーく」です。  
平成17年に発足したばかりですが、やる気満々です。



秩父地域で新しく読み聞かせを始める学校サークルの皆さん、ちちぶっくねっとが応援します。

私、会長の菊池政文、4児の父です。  
埼玉の父ちゃんたちよ、もっと絵本を読もう！！  
絵本ナビに負けるなっ。

読み聞かせの原点は、囲炉裏端で語られる昔話ではないだろうか。さすがに囲炉裏は消えたが、秩父にはまだまだ人と人の係わりが濃く残っている。民話もある。三世同居も多い。こんな秩父で、情のある読み聞かせ活動を繰り広げたい。絵本、児童書、ストーリーテリング、民話、紙芝居など、子どもの本に関するたくさんの情報に対応していける発信基地でありたいと思っています。

今後は、各図書館との連携、学校図書館を考える研究会、各種リスト作成など、新しい分野にも活動を広げていきたいと思っています。会員募集中です。

事務局・加藤優子

## 使えるブックリスト

ブックリスト担当から



ブックリストグループでは県立図書館のホームページで紹介している学年別、季節別のブックリストを配布用プリントに作成しました。より多くの方に利用していただくと良いなと思っています。  
今年度のテーマは、「おかあさんや先生に少しずつ読んでもらう本」「本が苦手な子にお薦めする本」です。

それぞれのお薦めの本を実際に手に取って内容や本の装丁など見せ合い、読みあってお互いの意見を出し合いながら選書していきます。

読んでいるとそれぞれの本に新たな感動を覚えたり、県立図書館の司書の方が一緒に出して下さった初版本に子どもの頃の感動が呼び戻り、懐かしさに胸がキューンとなったりします。(メンバーは年齢がそれぞれですからちょっと複雑ですが...)

“読み手も聞き手も経験が浅い場合には、なるべく一回ごとに読み終えることのできる短編集をお薦めしたいね”とか“聞く力が十分に育っていない時期は年齢より少しやさしいものを選んだ方がより楽しく聞けるのでは...”とか“今、子どもたちの間ではこの本が良く読まれているよ”など子どもたちの現状や、自分たちが実際に子ども達に読み聞かせた時の反応などの話を交えながら作業を進めています。

このリストが『使えるブックリスト』として活用していただければ良いなと思っています。皆様からのリクエスト&情報をお待ちしています。

中田(子ども読書支援ボランティア)



Nice to meet you !

子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ  
<http://www.lib.pref.saitama.jp/>  
「子ども読書支援サービス」のページ



## きりぬき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

ローノットで航海中のコンパスではありますが、お陰様にて発行を重ねることとなりました。今期、きりぬきを進める中で世相を反映している内容のものが多かったような気がいたしました。

埼玉新聞2006年10月18日(6面)の「2006年度埼玉県推奨図書30冊決まる」の記事の中から、「命」や「家族」の大切さを取りあげたものをいくつか挙げてみます。

小学校1・2年生向け

『おじいちゃんのごらくごらく』

西本鶏介/作 長谷川義史/絵 (鈴木出版)  
ゆうたの大好きなおじいちゃん。お風呂に入れば「ごらくごらく」といつも言います。でもある日、おじいちゃんの体の具合が悪くなり....



小学校3・4年生向け 『鐘の鳴る日』

鈴木ゆき江/作 広野瑞枝/絵 (ひくまの出版)  
御岳山のふもとで、沙紀は絶滅寸前の木曾馬と出会います。馬や人とのふれあいを通して、命の大切さ、共に生きる喜びを感じさせてくれる物語です。



小学校5・6年生向け 『戦争孤児ロンくんの涙』

アンドレア・ウォーレン/著 もりうちすみこ/訳(汐文社)  
ベトナム戦争で多くの子ども達が孤児になった。7歳の孤児ロンもアメリカ人の養子となる。ロンのたくましい生き方を読みとって、自分の生きる糧にしてほしい。

中学生向け

『きみの友だち』 重松清/著 (新潮社)

交通事故がきっかけで「みんな」から離れた恵美は、病気を抱える由美のために、もこもこ雲を探す。そんな二人が周囲の人に「大切なもの」を気づかせていくのだった。

高校生・青年向け

『ジョナさん』 片川優子/著 (講談社)

現役女子高校生が描く等身大の物語。祖父の可愛がっていた愛犬ギバとの関わりの中で、祖父の死、友達、初恋、家族の思い出が綴られる。



いずれ環境は変わる、軸のブレないテーマでお役に立てたら、少しでも早いホームページへの掲載ができますよう、そんな思いできりぬきを進めております。みなさまのアクセスと、一声をお待ちしています。

渡辺(子ども読書支援ボランティア)

## 知っ得情報!



インターネットからの情報収集担当から

\*\*\* おすすめHP(ホームページ)の紹介 \*\*\*

- ☑ やまねこ翻訳クラブ <http://www.yamaneko.org/>  
「読書室」のおすすめの本や「資料室」の海外児童文学賞(ニューベリー賞、コールデコット賞など)受賞作品リストが満載。選書にきっとお役に立てるはず...
- ☑ 学校図書館研究会 <http://homepage1.nifty.com/chesunatt/index.html>  
学校図書館司書や、司書教諭が運営するHPで、十分見ごたえあり! WEBブックトークなど、ぜひ参考に!!
- ☑ 埼玉県立図書館 <http://www.lib.pref.saitama.jp/>  
子ども読書支援サービス【調べ学習・体験学習】の中に、県立久喜図書館のお話し会が入ったユニークな施設見学(HPより申込書のダウンロードも可能)等があります。詳しくは窓口でお問い合わせ下さい。摩訶不思議?! 図書館の裏側...

リンク集にありますので一度、訪ねてみてください



ネット上では、子ども読書支援ボランティアのためのスキルアップ講座やイベントはもちろん、子どもと読書(本)をつなぐためのブックトークや、わらべうた・てあそび、また、学校図書館や公共図書館のあり方について考えるHPや講座などの情報も増えてきたように思います。それは、情報発信者だけではなく、ボランティア自身が、それを必要としてきたということではないかと感じています。また、このイベントを載せて欲しいと情報を寄せて頂くなど、多くの方が当HPを見て頂いていることも励みになっています。情報収集担当としては、さらにアンテナを高く伸ばして作業を進めますので、よろしく願い致します。ひきつづき、皆さまからの情報もお待ちしています!

門田(子ども読書支援ボランティア)